



本年もさらなる
感染防止対策徹底を!!



～第2ステージはじまる～
まっすぐに ひたむきに
県政へ 全力投球

兵庫県議会議員

石井ひでたけ

も
NEW

石井ひでたけ県政報告

Vol.92

2021年 新春号

発行元: 石井ひでたけ事務所



日々の活動は
ブログを
ご覧ください

「人・現場力」で挑む 獅子と一緒にコロナ退治!



神出町の嶋姫神社にて

神戸市と意見交換(11月10日) 要望を知事に提出(12月7日)

神戸市内選出県議で構成する神戸会の執行部を対象にした県来年度予算編成に対する神戸市要望説明会が開かれました。感染症対策をはじめ、ポストコロナ社会に相応しい都心の再整備などについて意見を交わしました。これを踏まえ神戸会として県への要望をまとめ12月7日、知事に申し入れを行いました。



各種団体から来年度予算編成で要望

コロナ禍で社会生活や経済活動が大きな影響を受けている。厳しい現状を受け止め、来年度予算編成に反映するため、各種団体からの要望・意見交換会を活発に実施しています。いただいた意見、要望等は会派としてとりまとめ、県施策への反映を求めていきます。



県当局に対する団体要望活動に同席

年明け早々に「緊急事態宣言」が再発令され、新型コロナウイルスの感染収束への兆しがみえない状況が続いているが、ウィズコロナ社会に向けて、常に時代の先を見据えながら、県政課題に対して今年の干支のように一歩いっぽ着実に対処する決意です。

今年は知事選挙の年であり、県政において大きな節目を迎える年です。昨年12月の定例県議会で井戸知事が退任表明されました。全ての県民に居場所と出番があり、将来にわたって持続可能な県政展望が描けるリーダーのもとで、ふるさと兵庫が発展していくことを願ってやみません。

大転換期にあり、変化に挑む原動力は、やはり「人・現場力」です。新年にあたりこのことを胸に刻み、今年も全力投球いたします。ともに頑張りましょう。

来年度予算編成で知事申し入れ(11月11日)



来年度県当初予算編成に対する申し入れをひょうご県民連合議員団として井戸知事に行いました。コロナの影響で税収の大大幅減が見込まれる中、「無駄のない筋肉質な行政財政体制への転換・定着」の重要性などを強調し、「豊かさを実感できる新時代の兵庫づくり」の達成を要請しました。

その上で「地域主権社会」の確立、「健康福祉社会」の実現等9テーマ206項目を申し入れました。また、12月18日に行われた知事と会派執行部による来年度予算編成に向けた意見交換会では、団長として県庁舎等再整備をはじめとした大型投資事業等について改めて会派の意見を申し入れたい旨を伝えました。

第352回 12月定例県議会報告(12月1日~12月11日)

○議決案件

- ・令和2年度県一般会計(第6、7号)及び病院事業補正予算
 - ※新型コロナ感染リスクを低減しつつ、重症患者が急増した場合の受入対応力を強化するため、県立加古川医療センターに臨時の重症専用病棟を整備するなど救急対策の予算を計上。
 - また、高病原性鳥インフルエンザ対策等を実施します。
 - ・兵庫県税条例の一部を改正する条例
 - ・県民課税条例の一部を改正する条例
 - ・公立大学法人兵庫県立大学の設立等に関する条例の一部を改正する条例
 - ・国民健康保険事業の運営に関する条例の一部を改正する条例
 - ・公立大学法人兵庫県立大学第二期中期目標の変更
 - ・抗インフルエンザウイルス薬の取得
- など 計20件

○同意人事

- ・公安委員会の委員の任命の同意 計1件

○意見書

- ・教育予算の拡充(会派提案)
 - ・精神保健医療福祉の改善
 - ・骨髄移植の治療等特別な理由で抗体が失われた場合のワクチン再接種制度の整備
 - ・国民健康保険等の第三者行為求償事務に係る損害保険会社からの届けの提出代行の徹底
 - ・不妊治療への保険適用の拡大
 - ・住まいと暮らしの安心を確保する生活困窮者への居住支援の強化等
- など 計10件



コロナ「緊急事態宣言」再発令中

新型コロナウイルスの感染者が最多を更新する状況を踏まえ、「緊急事態宣言」が再発令されました。

不要不急の外出自粛要請、テレワークの推進などを呼びかけています。

いま一度、心を合わせて、感染防止対策を徹底し、この困難を乗り越えていきましょう。

感染リスクが高まる「5つの場面」

1 飲酒を伴う 懇親会等

飲食の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。



2 大人数や長時間 におよぶ飲食

大人数・長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。



3 マスクなしでの 会話

マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。



4 狹い空間での 共同生活

狭い空間での共同生活では、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。



5 居場所の 切り替わり

仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることがある。



厚生労働省のホームページより抜粋

警察常任委員会活動報告

警察常任委員会の閉会中の継続調査事件として10月26日に「交通事故防止対策の推進」、11月16日に「県民の理解と協力の確保」、12月16日に「住民に身近な地域警察活動の推進」についてをテーマに開催されました。

管内調査 11月12日～13日 東・北播磨、淡路

- 若手育成プログラム（採用状況、警察学校の生活）
- 神戸西警察署（垂水警察署、三木警察署）
- 加東警察署（小野警察署）
- 加西警察署（西脇警察署）
- 南あわじ警察署（洲本警察署、淡路警察署）
- 明石警察署（加古川警察署、高砂警察署）
- はりま高齢者講習専門学校（写真右）



政調会・新年度予算で活発質疑(1月6日～8日)

令和3(2021)年度県予算の編成状況などについて各部局から説明を受ける政務調査会が1月6日から3日間にわたり実施されました。説明後、コロナ対策や地域経済の活性化などについて活発に質疑を交わしました。



ひょうご県民連合議員団活動報告

新型コロナの影響も踏まえた地域創生、児童虐待対策などの取り組みを調査するため、ひょうご県民連合議員団として12月14～15日に東・中播磨、淡路地域を訪問しました。また、12月21日には県立大学(神戸市西区の神戸商科キャンパス)を調査しました。

管内調査 12月14日～15日 東・中播磨、淡路

- 中央こども家庭センター（児童虐待防止対策）
- のじまスコーラ（淡路島での事業展開）
- ニジゲンノモリ（淡路島での事業展開）
- 淡路県民局（意見交換）
- 連合中南部協議会（意見交換）
- 峰山高原ホテルリラクシア（新型コロナウイルス感染症等による観光業への影響）
- 明石運転免許更新センター（高齢者講習実施状況）



管内調査 12月21日

- 兵庫県立大学神戸商科キャンパス（母校）の新学部及び国際学生寮を調査しました。



石井ひでたけ プロフィール

昭和41年4月15日生まれ
B型 西区学園西町在住
白陵中・高、神戸商科大学(現兵庫県立大学)卒、
サラリーマン生活を経て、
阪神淡路大震災直後、会社を退社、代議士秘書
平成11年、西区より県議選に出馬するも惜敗
平成15年、二度目の挑戦で県議会初当選
平成19年・23年・27年・31年 再選

【現在】兵庫県議会ひょうご県民連合議員団 団長
兵庫県体育協会 評議員
兵庫県自転車競技連盟 会長 他
【主な経歴】関西広域連合議会 議員(2期)
兵庫県監査委員 兵庫県産業労働常任委員会 委員長
兵庫県農政環境常任委員会 委員長 他
【趣味】ドライブ 自転車 登山(日本100名山踏破) 他



石井ひでたけ 事務所

伊川谷事務所

〒651-2113

神戸市西区伊川谷町有瀬537-3

TEL 078-978-0667

玉津事務所

〒651-2133

神戸市西区枝吉1-215

TEL 078-920-2200

公式サイトは
こちら



月曜県政相談会

毎月月曜日の10時から12時まで
伊川谷事務所にて
「県政相談会」を開催しています。
どんどんご意見・ご要望お寄せください。

伊川谷事務所 地図

